



飯能名栗エコツーリズム通信

第8号 2007年12月

上直竹上戸・細田
2007-10
Takashi




画：活動市民の会 根立隆さん

目次

- ◇観光案内所がオープンしました! 1
- オープンカレッジ実践講座 実施報告 2
- 活動市民の会メンバー主催のツアーが始まります 3
- 事務局からのお知らせ 4

発行

飯能市エコツーリズム推進室

〒357-8501 飯能市大字双柳 1-1

TEL : 042-973-2123

FAX : 042-971-2393

◆観光案内所がオープンしました!

11/15(木)、天覧山の北東に飯能市観光案内所がオープンしました。この施設は、市内の観光名所やイベント情報を紹介する場所としてつくられたもので、飯能名栗エコツーリズムのポスターやパンフレットなども置いてあります。

オープンカレッジや出前講座をはじめ、色々な機会に「エコツーリズム」「エコツアー」といった言葉を紹介していますが、まだまだ「飯能名栗エコツーリズムってよくわからない」という声も聞かれます。今後は、この観光案内所も広報の拠点として活用していきたいと思っておりますので、みなさまもぜひ一度、お立ち寄りください。



◆オープンカレッジ実践講座 実施報告

10/27(土)、28(日)、11/11(土)の3日間にわたり、初のオープンカレッジ実践講座を開講しました。この講座は、これまで開催してきたオープンカレッジの上級コースで、エコツアーのガイドをしていただくための技術を会得していく、野外実習を中心とした講座です。今回は、6名の方に受講していただきました。3日間の講座の様子をご紹介します。

●1日目

初日はあいにくの雨…。しかも台風が接近中というおまけ付きでした。しかし、そこは実習中心の実践講座。予定より早めに切り上げたものの、しっかり野外実習を行いました。

天覧山周辺を歩きながら、講師からエコツアーの素材となる資源、ツアーの時に使えるちょっとしたネタの紹介があり、天覧山の新たな魅力を知ることができました。



紅葉したヌルデ。茎にひれ状の葉がついているのが特徴です。



登山道で見つけた謎の物体。
実はコレ、きのこなんです。



天覧山のふもとにある道標。
何が書かれているでしょう？



●2日目

前日とは、うってかわって秋晴れとなった2日目。午前中は、中央公園から飯能河原へ向かうコースを歩きながら、自然や歴史・文化資源を確認していきました。参加者から、飯能河原にまつわる昔の体験談もとび出し、貴重な情報を共有することができました。午後からは、前日に歩いた天覧山方面でエコツアーの素材の解説練習を行いました。

●3日目

最終回となる3日目は、受講生のみなさんがガイドとなって行う模擬ツアーの実践でした。中には、今回の模擬ツアーのために、何度も天覧山へ下見に訪れた熱心な方もいらっしゃいました。それぞれが自分なりの言葉で伝えたいことを表現したり、工夫してつくった解説グッズを用いたりして、個性を活かしたガイドを行うことができました。3日間の実習を通じて、天覧山周辺の新たな魅力やエコツアーガイドにとって大切なことを実践的に学んでいただけたことと思います。

模擬ツアーで
魅せた！
名ガイドたち



自作の解説シートを使って、飯能の地名の由来を紹介。落ち着いた口調が参加者を安心させます。



畑にあったイノシシの痕跡から人と野生動物との共存について問題提起。真剣な表情が印象的です。



三島由紀夫の『美しい星』に書かれた天覧山山頂の風景を朗読。小説が書かれた当時の雰囲気がよくわかりました。



趣味でとった生物の写真を披露。自分の好きなものを解説しているので、素敵な笑顔ですね。



自宅にあった写真集を紹介。あなたのお宅にも貴重な資料が眠っているかもしれません。

来年度もこのような実践講座を開講する予定です。ガイドの経験がある人もない人もぜひ講座を受講して、今まで気づかなかった天覧山周辺の魅力を探しましょう！

◆活動市民の会メンバー主催のツアーが始まります

来年2月に、以前から企画を温めていた人や、今回のオープンカレッジ実践講座の修了生が中心となってガイドする活動市民の会のエコツアーが、一挙に3つ開催されます。いずれも市販のガイドブック等には載っていない、飯能の知られざる魅力を案内する市民ならではのガイドツアーです。活動市民の会では、「少人数、半日の行程、食事なし、低料金」を基本コンセプトに、地元ならではの、誰でも気軽に参加できるツアーを次々に企画、開催していきたいと思っています。

現在、

- ・ 緑と清流に育まれた飯能の地酒 酒蔵見学ツアー（仮題）
開催時期：3月上旬
- ・ まちなか和菓子屋さんめぐり（仮題）
開催時期：4月～5月



といった、まちのお店と連携して行うツアーを企画中です。職人の方たちのものづくりや地域に対する思いが聞けるチャンスです。これらのツアーの運営に関わってみたいという方は、ぜひエコツーリズム推進室までご連絡ください！

事務局からのお知らせ

★推進協議会だより★

飯能市は学識経験者やエコツアー実施者からなる「エコツーリズム推進協議会」を開催し、エコツーリズム推進のための意見交換や実行すべき施策の検討を行っています。

11/9（金）に開かれた推進協議会では、エコツアーの実施状況報告に加え、以下の議事がありました。

○（仮称）飯能名栗エコツーリズムセンターについて

- ・エコツアー実施者を支援するために、行政の枠にとらわれない、機動性・柔軟性・迅速性に富んだ広報、斡旋を行う組織が必要
- ・エコツーリズムの公益的な面を拡大していくための組織が必要
- ・飯能名栗エコツーリズム事業全体をまとめるため、エコツアーの経済面、公益面の両方をバランスよく、かつ高度に発揮するための組織が必要

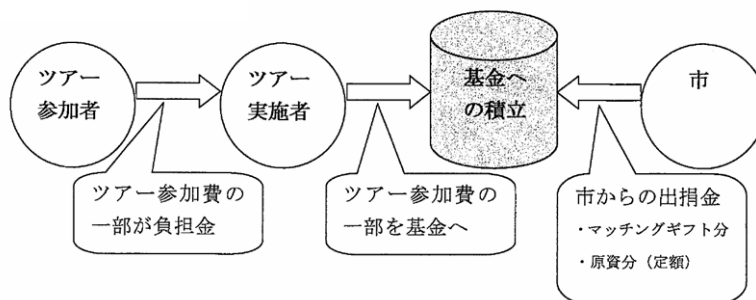
→以上のような認識から、平成 21 年を目標に、行政と協働できる N P O 法人の設置に取り組むことが合意されました。

○（仮称）飯能名栗エコツーリズム基金について

以前から検討されてきた（仮称）飯能名栗エコツーリズム基金について、飯能名栗の自然環境、歴史・文化を保全し、飯能名栗エコツーリズムを持続的に発展させることを目的に設置することが合意されました。

[基金積み立てのイメージ]

ツアー実施者は、ツアー参加費の一部をエコツアーの資源である飯能名栗の自然、歴史・文化を守るための負担金として、基金に積み立てていきます。さらに、毎年ツアー実施者の負担金総額と同じ額を市が積み立てます（マッチングギフト方式）。



■編集後記■

待望の活動市民の会メンバー企画のエコツアーがいよいよ2月に実現します。また、春以降に開催予定の第2弾企画もまとまりつつあります。これまで参加する側だった人も、ぜひ一度、スタッフとして参加してみたいはいかがでしょうか。エコツーリズムに対して、これまでとは違った見方ができるようになるはずですよ。

飯能市環境部エコツーリズム推進室

<http://www.hanno-eco.com>

TEL : 042-973-2123 FAX : 042-971-2393

○メール : eco2@city.hanno.saitama.jp

☆ホームページにはこれまでのエコツアーの様子なども掲載しています。ぜひ一度ご覧ください。

